Mission:
We enable Commander, U.S. Naval Forces, Japan to accomplish its base support mission by delivering innovative, best value solutions to the full spectrum of facility management functions across all Naval activities.

ミッション
すべての米海軍部隊に最新鋭で最高品質な施設管理業務全般を提供し、在日米海軍の基地支援任務達成に貢献する。

Vision:
We are critical to the Forward Deployed Naval Force warfighters. Our World-Class facility support, enables them to fight and win.

ビジョン
艦隊の活躍は我々の肩にかかっている。ワールドクラスの施設管理支援が勝利に導く。

Guiding Principles
指針

Accomplish the Mission.

ミッションを達成する。

Built on our Navy Core Values of
Honor, Courage and Commitment.

米海軍のコアバリューである、名誉、勇気、献身を組織の基礎とする。

RFMS Team will:
- **Listen first — seek to understand**
- **Communicate openly and honestly**
- **Respect each other**
- **Be accountable**

RFMSチームは
- 相手の声に耳を傾け、理解に努める
- オープンで正直なコミュニケーションをする
- 相互に尊重しあう
- 責任感を持つ

Speak with One Facilities Engineer Voice.
我々の声をひとつに。

在日米海軍司令部地域統合エンジニア
米海軍施設本部司令官
極東建設本部司令官
https://www/pwcyoko.navy.mil/Main/index.htm

2004-2007

Regional Facility Management System
地域統合施設管理システム

Strategic Business Plan
経営戦略計画

艦隊へ ワールドクラスのサポートを

２００４－２００７地域統合施設管理システム経営戦略計画

重要項目

従業員：　従業員を育成する。
技術革新：　21世紀の艦隊にふさわしい基地作りをする。
顧客：　顧客の期待に応える。
業務改善：　健全なｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝとﾋﾞｼﾞﾈｽの原理に基づき、　ﾈｯﾄﾜｰｸ化された施設管理とﾊﾟﾌﾞﾘｯｸﾜｰｸｽｻｰﾋﾞｽを実現する。

４つの重要項目をふまえ、９つのゴールを設定しました。また、ゴール達成のために各目標が設定されています。

従業員ゴール１：

FacTS意識調査において
従業員満足度を向上させる。

技術革新ゴール１：

海軍基地司令業務事例解析を検討し、日本地域のすべての顧客に対する、施設管理、調達業務、補助業務の最高価値を決定する。

技術革新ゴール２

地域統合施設管理システムを
極東施設技術部隊に転換する。

顧客ゴール１：

顧客満足度を向上させる。

業務改善ゴール１：

在日米海軍とその他の顧客に対しより良いサポートを提供するため極東建設本部の能力を向上させ、連携を強める。

業務改善ゴール２：

全ビジネスラインのサービスレベルを確認し実行する。

業務改善ゴール３：

地域全体の施設管理と
スペース管理を一体化する。

業務改善ゴール４：

国防省グローバル基地計画、
太平洋艦隊担当地域概要計画や
在日米海軍地域統合陸上基地計画
に示される現在と将来の前方展開
する艦隊を支援するための
陸上施設の維持・修復・近代化に
必要な資源を調整する。

業務改善ゴール５：

ユーティリティビジネスラインの
転換を図る。

目標1.1:FacTS意識調査の設問を見直す。
目標1.2:コミュニケーションプランを全てのレベルで浸透させる。
目標1.3:コミュニティマネージメントを導入する。
目標1.4:従業員報奨制度を改善する。
目標1.1:海軍基地司令による業務事例解析と日本の積算運営結果を調査する。
目標1.2:必要な資産を明確化し、解決策と具体案を実行する。
目標2.1:極東施設技術部隊設立に向け、ファクツアンドジャスティフィケーション（Ｆ＆Ｊ）を作成する。
目標2.2:施設技術部隊機構の在り方を伝達する。
目標2.3:極東施設技術部隊試験部隊の一部として、製品とサービスに海軍資本金制度を導入する。
目標2.4:極東施設技術部隊の概念を確立する。
目標2.5:インフラ、設備、施設、人員を極東施設技術部隊へ転換する。
目標1.1:二方向性のあるコミュニケーションプランを開発、導入し、パブリックワークスチームへ伝授する。
目標1.1:極東建設本部の人員配置を改善する。
目標1.2:極東建設本部全体に効率的なプロセスを導入する。
目標1.3:極東建設本部の明らかな成功を増加させる。
目標1.4:ディエゴガルシアROICCを地域統合施設管理システムに組み入れる。
目標2.1:地域統合施設管理システム下、各ビジネスライン間の基地管理会計プロジェクト機能とサブ機能を分離させる。
目標2.2:海軍作戦部統合プロセスチームによる業務達成管理指標と業務遂行規準を確認する。
目標2.3:地域統合施設管理システム下の各ビジネスラインが提供している業務遂行レベルの現状を査定する。
目標2.4:各基地管理会計プロジェクト機能とサブ機能が業務上達成すべきレベルを決定する。
目標2.5:各基地管理会計プロジェクト機能とサブ機能を海軍基地司令により指示された業務遂行レベルに到達させるための業務の再統合とそのための計画を実施する。
目標2.6:新規業務を遂行する場合、各基地管理会計プロジェクト機能とサブ機能が海軍基地司令により指示された業務遂行レベルと合致できるような業務遂行手順を作成し、実施する。
目標2.7:各基地管理会計プロジェクト機能とサブ機能が海軍基地司令により指示された業務遂行レベルに継続して合致できるように業務達成管理指標をモニターし、助言する。
目標3.1:スペース管理プロセスを確立する。
目標3.2:不動産目録管理に必要な項目と資産データを更新する。
目標3.3:スペース管理データベースアプリケーションを提供する。
目標4.1:在日米海軍地域統合陸上基地計画を完成させる。
目標4.2:在日米海軍地域統合陸上基地計画を、日本政府による施設改善計画（FIP)、軍事施設建設（MILCON)、スペシャルプロジェクトと統合する。
目標4.3:継続的に在日米海軍地域統合陸上基地計画を更新する。
目標5.1:地域統合ユーティリティ運営概念を開発する。
目標5.2:ユーティリティビジネスラインのユーティリティ課金ソフトを導入する。
目標5.3:厚木と佐世保のユーティリティシステムを海軍運営資本金制度へ転換するための戦略的ユーティリティイニシアティブ詳細実行導入計画を続行する。
目標5.4:三沢、沖縄、ディエゴガルシアのユーティリティシステムの海軍運営資本金制度への転換の可能性を調査する。
目標5.5:在日米海軍全域において積極的な省エネルギープログラムを促進する。
目標5.6:2004会計年度特別令13123実行計画を促進する。